

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	歴史
科目基礎情報						
科目番号	0010		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械電気工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	『高等学校 改訂版 世界史A』(第一学習社) / 『グローバルワイド 最新世界史図表 改訂23版』(第一学習社) / 『学習事項の整理と作業 改訂版 世界史Aノート』(第一学習社)					
担当教員	柏倉 知秀					
到達目標						
(1) 世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。 (2) 民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。 (3) 近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。		世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	世界の資源、産業の分布や動向の概要を理解できる。	世界の資源、産業の分布や動向の概要を理解できない。		
民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。		民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について理解できる。	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について理解できない。		
近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。		近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を理解できる。	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を理解できない。		
学科の到達目標項目との関係						
到達目標 A 2						
教育方法等						
概要	経済や情報の分野で進む国際化やグローバル化に対応できるように、また、世界市民の一員として国際社会における相互理解に必要とされる諸外国の歴史的背景について講義する。					
授業の進め方・方法	大量に板書する予定なので、自分できちんとノートを取ること。基礎用語の確認のため、小テストやプリントの提出を求めることがある。					
注意点						
授業計画						
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標	
		1週	オリエンテーション ユーラシアの諸文明		授業の進め方と評価方法について説明 東アジア1	
		2週	ユーラシアの諸文明		東アジア2	
		3週	ユーラシアの諸文明		南アジア	
		4週	ユーラシアの諸文明		東南アジア	
		5週	ユーラシアの諸文明		西アジア	
		6週	ユーラシアの諸文明		ヨーロッパ	
		7週	ユーラシアの諸文明		アフリカ	
	8週	ユーラシアの諸文明		アメリカ		
	2ndQ	9週	中間試験		上記の内容から出題する	
		10週	前期中間試験の解答・解説 結びつく世界		試験の解答と解説 東アジア1	
		11週	結びつく世界		東アジア2 東南アジア	
		12週	結びつく世界		内陸アジア 南アジア	
		13週	結びつく世界		西アジア 大航海時代	
		14週	結びつく世界		アメリカ大陸の変容 ルネサンスと宗教改革	
		15週	期末試験		10回～14回の内容から出題する	
16週		答案返却など		試験の解答と解説		
後期	3rdQ	1週	結びつく世界		ヨーロッパ主権国家体制 近世ヨーロッパ諸国	
		2週	結びつく世界 欧米の工業化と国民形成		世界商業の展開 科学革命と啓蒙思想	
		3週	欧米の工業化と国民形成		産業革命 労働運動と社会主義	
		4週	欧米の工業化と国民形成		アメリカ独立革命 フランス革命	
		5週	欧米の工業化と国民形成		ナポレオン 大西洋革命	
		6週	欧米の工業化と国民形成		ウィーン体制 イギリスの繁栄	
		7週	欧米の工業化と国民形成		二月革命と第二帝政 イタリアとドイツの統一	

	4thQ	8週	中間試験	後期1回～7回の内容から出題する
		9週	後期中間試験の解説・復習 欧米の工業化と国民形成	試験の解答と解説 ロシアの近代化とバルカン半島
		10週	欧米の工業化と国民形成 アジア諸国の変貌	アメリカ合衆国の膨張 世界市場の形成
		11週	アジア諸国の変貌	西アジア 南アジア
		12週	アジア諸国の変貌	東南アジア 東アジアと日本
		13週	帝国主義の時代	帝国主義 列強の世界政策
		14週	世界戦争	第一次世界大戦 ロシア革命
		15週	期末試験	後期9回～14回の内容から出題する
		16週	答案返却など	試験の解答と解説

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会 科学	社会	地理歴史的 分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	3	
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100
基礎的能力	90	0	0	0	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0